平成11年12月20日発行　毎月１回発行

財団法人 ベターリビング

better living NEWS

10月は住宅月間

平成11年12月号 vol.081

目次

●優良住宅部品（ＢＬ部品）の認定
●優良住宅部品認定基準の変更概要（その４）
●住宅・住宅部品評価センター　製品認証のお知らせ
●システム審査登録センター　ISO9000sの登録
●システム審査登録センター　２０００年対応に向け組織改正
●CHS認定について
●ＢＬデザイン賞の創設
●お知らせ　ISO9000s講習会
●優良住宅部品（ＢＬ部品）の品目名
●ＢＬ部品マーキングシステム通常使用権許諾一覧
●BL部品の仕様等の変更
●11月の動き

優良住宅部品（ＢＬ部品）の認定

平成11年11月15日、30日付で２品目の認定を行いました。これにより、優良住宅部品は、50品目、延べ931社1,952タイプになりました。

今回認定された品目（分類）のそれぞれの認定社数及びタイプ数は右のとおりです。

＜平成11年11月15、30日付＞

認定品目（分類）	社数	タイプ数
歩行・動作補助手すり	２社	２タイプ
暖・冷房システム	２社	２タイプ

問い合せ先：当財団　研究企画部企画課　03-5211-0563

優良住宅部品認定基準の変更概要（その４）

優良住宅部品認定制度の見直しに伴う認定基準の見直しを４月、８月、10月に引き続き実施し、建築系部品として、「玄関ドア用錠前」、「パイプシャフト用ドア」、「内装床ユニット」、「内装壁ユニット」、「天井ユニット」、「内装枠回りユニット」及び「宅配ボックス」の７品目について、また、設備系部品として、「食器洗い機」、「暖･冷房システム」、「洗濯機用防水パン」、「ガス警報機器」及び「配管システム」の５品目の合計12品目について、平成11年12月10日付で公表・施行しました。

これまでの見直しと同様に、木質系部品については、（社）住宅生産団体連合会から出された「住宅内の化学物質による室内空気質に関する指針」を受け、ホルムアルデヒド放散量についての規定を追加しました。各品目のその他の主な変更点は以下のとおりです。

１　玄関ドア用錠前

【新たに基準を設けたもの】

１．にぎり手の形式で、「サムラッチ」に代えて、「グリップハンドル」の項目を設けた。

２．規格寸法対応の錠前（スペーシング寸法が80ｍｍ、扉框の見付け寸法が95ｍｍ以内、デッドボルトの出の長さは、面付箱錠が15ｍｍ以上、彫込箱錠が17ｍｍ以上）を標準化選択基準として定めた。

３．操作性を考慮した大型レバーハンドル（グリップハンドル）、大型サムターン、大型キーヘッド、すり鉢状のキー差込口、リバーシブルシリンダーを有している錠前を推奨選択基準（「長寿社会対応玄関ドア用錠前」）として定めた。

２　パイプシャフト用ドア

なし

３　内装床ユニット

１．品目名「内装システム（部位別ユニット）」において区分として「内装床ユニット」として扱っていたが、独立させた品目名「内装床ユニット」とした。

【新たに基準を設けたもの】

２．床の遮音性能を、推奨選択基準として定めた。

【性能試験方法や性能レベルを変更したもの】

３．床の等分布荷重に対する強度試験について、旧基準では判定値を最大たわみ５㎜以下としていたが、これを３㎜以下とした。

４．床の局部集中荷重に対する強度試験について、旧基準では判定値を最大たわみ５㎜以下としていたが、これを３㎜以下とした。

５．床の加湿繰り返しに対する変形試験について、旧基準では判定値を「支障がないこと」としていたが、これを「変位が高さの1/200以下」とした。

４　内装壁ユニット

１．品目名「内装システム（部位別ユニット）」において区分として「表装壁ユニット」、「間仕切ユニット」として扱っていたものを統合して「内装壁ユニット」とした。

【性能試験方法や性能レベルを変更したもの】

２．加湿繰り返しに対する変形試験について、旧基準では判定値を「支障がないこと」としていたが、これを「変位が高さの1/200以下」とした。

３．加熱繰り返しに対する変形試験について、旧基準では判定値を「支障がないこと」としていたが、これを「変位が高さの1/200以下」とした。

５　天井ユニット

１．品目名「内装システム（部位別ユニット）」において区分として「天井ユニット」として扱っていたが、独立させた品目名「天井ユニット」とした。

【性能試験方法や性能レベルを変更したもの】

２．加湿繰り返しに対する変形試験について、旧基準では判定値を「支障がないこと」としていたが、これを「変位が高さの1/200以下」とした。

３．加熱繰り返しに対する変形試験について、旧基準では判定値を「支障がないこと」としていたが、これを「変位が高さの1/200以下」とした。

６　内装枠回りユニット

１．品目名「内装システム（部位別ユニット）」において区分として「枠回りユニット」として扱っていたが、独立させた品目名「内装枠回りユニット」とした。

７　宅配ボックス

【新たに基準を設けたもの】

１．製作寸法許容差を±2.0ｍｍとした。

２．保有する鍵違い数を100以上とした。

３．誤って子供等が閉じこめられた場合を考慮し、通気性を有しており、内部から開錠できる構造である大型の保管箱の高さ寸法を800ｍｍ以上とした。

４．１ユニット（縦１列当たりの保管箱の組合せ）当たりの外形寸法（幅寸法500ｍｍ、高さ寸法1,800ｍｍ、奥行寸法600ｍｍ）を標準化選択基準として定めた。

８　食器洗い機

【新たに基準を設けたもの】

１．まとめ洗い方式の場合の扉の強度について、組込型又は据置型（床置きタイプ）の場合は150Ｎ、据置型（卓上タイプ）の場合は40Ｎの荷重を５分間加え、機器の転倒や扉、扉のヒンジ等の異常がなく、かつ扉の前縁の位置でのひずみ量が15ｍｍ以下であることとした。

【性能試験方法や性能レベルを変更したもの】

２．食器洗い機の最も基本機能となる洗浄性能については、各食

器の汚れの落ち具合をポイント化し、具体的な判定基準(最高1.0に対し0.8以上)を設けた。

3．乾燥機能付の場合の乾燥性能は、従来から定めているＢＬ独自の試験方法により「湯のみ等の糸底に残る水を除き、使用上支障のある水滴や水すじが残らないこと。」とした。

4．食器収納の目安については、旧基準ではタイプごとに収納できる食器類のセット数を示していたが、基準で限定すべきことではないということで削除し、収納食器数の目安と食器のセット方法を取扱説明書等に明示することを規定した。

9　暖・冷房システム

【認定の対象範囲を変更したもの】

1．システムの構成を、ユニット別に明確にした。

2．認定対象範囲を明確にするため、情報提供上の整理区分として暖冷房方式と構成機器を纏めた「暖･冷房システムの区分･分類(機器･部材構成)」を提供した。

【性能試験方法や性能レベルを変更したもの】

3．目標値として位置づけていた「騒音」について、すでに見直しが行われた「優良住宅部品認定基準（ガス給湯器)」、「優良住宅部品認定基準（石油給湯機)」等の騒音基準を参考にユニット毎に規定した。

10　洗濯機用防水パン

1．洗濯機用防水パンに要求される機能を、「認定の対象」において表現した。

【新たに基準を設けたもの】

2．排水トラップ取付孔の中心寸法について、実状に合わせて公差を設けた。

3．環境に対する負荷の低減として、洗濯機用防水パン本体に主要材料が識別できる表示を行うこととした。

【性能試験方法や性能レベルを変更したもの】

4．「曲げ強さ及び曲げ弾性率」、「表面硬さ」において、ポリプロピレン、再生プラスチックの試験方法を明確にした。

11　ガス警報機器

【性能試験方法や性能レベルを変更したもの】

1．通電表示灯及びガス漏れ警告表示に用いるランプについて、旧基準では灯色の指定をしていたが、ガス漏れ検知・一酸化炭素検知・火災検知等の機能が複合された製品の普及により、機器ごとに新たな灯色の指定、もしくは推奨する色を今後の検討課題とし、灯色は指定せず、視認性のみを評価することとした。

12　配管システム

【新たに基準を設けたもの】

1．水栓単独使用時の最大吐出量について、水圧0.2MPaの条件下でシャワー及び台所流しの水栓をそれぞれ水単独・湯単独に全開し、その時の最大吐出量は、シャワー８Ｌ/min以上、台所水栓６Ｌ/min以上であることとした。

2．水栓同時使用時の吐出温度と吐出流量について、水圧0.2MPaの条件下でシャワーを所定の温度・吐出量に設定しておき、台所流し水栓を水単独・湯単独・湯水混合の三種類の状態で開にし、その時のシャワーからの吐出量は８Ｌ/min以上、温度は40℃以上であることとした。

【性能試験方法や性能レベルを変更したもの】

3．浸出性能について、現行の試験方法は、JIS K 6769（架橋ポリエチレン管）の8.6「溶出試験」によることとしているが、材質ごとに適用されるJISの「浸出性能試験」によることとした。

4．継手部の冷熱繰返し試験について、旧基準では社内試験のデータ提出となっていたが、ＢＬ独自の試験を定め、30,000回の冷熱繰返しを行った後、試験片に漏れがないこととした。

問い合せ先：当財団　開発部　03-5211-0683

住宅・住宅部品評価センター

製品認証のお知らせ

住宅・住宅部品評価センターは、以下のとおり製品認証を行いました。12月７日現在28の製品が認証されています。

問い合せ先：当財団　住宅・住宅部品評価センター　03-5211-0588

認証番号	認証日	企業名	製品名	対象規格
BP99026	1999/11/10	株式会社グロバリー	電気蓄熱暖房機	住宅部品　優良住宅部品認定制度の認定基準（暖・冷房システム）
BP99027	1999/11/12	白川産業株式会社	歩行・動作補助手すり	住宅部品　優良住宅部品認定制度の認定基準（歩行・動作補助手すり）
BP99028	1999/12/07	輸送機工業株式会社	玄関ドア（引き戸）	住宅部品　優良住宅部品認定制度の認定基準（玄関ドア）

システム審査登録センター

ISO9000sの登録

システム審査登録センターは、平成11年11月18日付けで、下記企業(７社)のISO9000sに基づく品質システムについて審査の結果、適合と判断し登録しました。

これで、累計登録件数は、ISO9000sが60件となりました。

問い合せ先：当財団　システム審査登録センター　03-5211-0609

財団法人ベターリビング　品質システム登録リスト

登録番号	登録日	適用規格	登録企業の工場または事業所	所在地	適用する 製品、プロセス又はサービスの名称
Q054	1999年11月18日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901-1998	菅野建設株式会社	福島県福島市新町６番３３号	建築物の設計及び施工
Q055	1999年11月18日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901-1998	株式会社東建ジオテック 東京支店	東京支店：東京都千代田区外神田６丁目５番４号 茨城事務所：茨城県水戸市河和田１丁目1814番９号 千葉支店：千葉県千葉市中央区登戸１丁目23番１号 横浜支店：神奈川県横浜市神奈川区西神奈川１丁目19－８	地盤調査業務及び土木コンサルティング業務
Q056	1999年11月18日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901-1998	東海興業株式会社 九州支店	九州支店：福岡県福岡市中央区赤坂１－12－15 鹿児島営業所：鹿児島県鹿児島市鴨池新町５－６ 長崎営業所：長崎県長崎市恵美須町７－12 北九州営業所：福岡県北九州市小倉北区馬借３－３－36	建築物、土木構造物の設計、施工及び付帯サービス
Q057	1999年11月18日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901-1998	株式会社東建ジオテック 北関東支店	北関東支店：埼玉県大宮市宮原町１丁目189番地３ 群馬事務所：群馬県前橋市新前橋町18番地19 上尾事務所：埼玉県上尾市井戸木３丁目20番23号 川口事務所：埼玉県川口市芝下２丁目22番19号 春日部事務所：埼玉県春日部市粕壁東５丁目18番45号 埼玉事務所：埼玉県浦和市南元宿２丁目32番15号	地盤調査業務及び土木コンサルティング業務
Q058	1999年11月18日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901-1998	丸一株式会社	本社：大阪府大阪市西区京町堀２丁目10番25号 本社工場：大阪府大阪市平野区長吉六反１丁目３番22号 いわき事業所：福島県いわき市大久町大久字寺前６－５ 開発研究所：大阪府大阪市平野区長吉六反２丁目６番40号 営業部 大阪支店：大阪府大阪市西区京町堀２丁目10番25号 営業部 東京本社：東京都練馬区田柄２丁目31番１号	キッチン・バス・洗面器の排水トラップ、ホース加工品及び水廻りパーツの設計及び製造
Q059	1999年11月18日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902-1998	丸久建設株式会社 本社及び高尾野営業所	本社：鹿児島県出水市昭和町12番21号 高尾野営業所：鹿児島県出水郡高尾野町下水流3274	土木物の施工
Q060	1999年11月18日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902-1998	株式会社リサイクルクリーン 「株式会社丸新藤城商店 産業廃棄物部門」	本社及び本社工場：静岡県天竜市二俣町二俣42－１ 第二工場：静岡県天竜市二俣町二俣20－１	産業廃棄物収集、運搬及び処分

システム審査登録センター

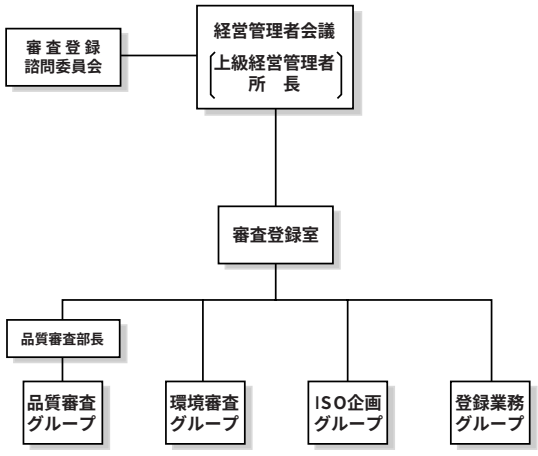
２０００年対応に向け組織改正

システム審査登録センターは、平成11年11月１日付けで、右図の通り組織改正を行いました。

今回の組織改正の主旨は、2000年に予定されているISO9000sの改訂への対応など、将来の課題に対処するため新たに「ISO企画グループ」を発足させました。

また、品質審査の質の維持、向上を図るために品質審査員の教育などを実施する品質審査部長を任命するなど、将来に備えた業務体制としました。

問い合せ先：当財団　システム審査登録センター　03-5211-0609



CHS認定について

当財団では、右記住宅をセンチュリーハウジング認定基準に基づく審査の結果、センチュリーハウジングシステム住宅として認定いたしました。

「ハイレーゼ六本木三河台」（申請者：興和不動産(株)）は、今年度センチュリーハウジング認定基準改正後の初めての認定物件であり、去る12月１日に当財団において認定書授与式が執り行なわれました。

問い合せ先：当財団 住宅・住宅部品評価センター評価室　03-5211-0599

■平成10年度認定基準による

名　称	ミサワホームズ千葉桜台
申請者	ミサワバン株式会社
区　分	一般認定型
供給形式	個別供給型（集合住宅）
認定日	平成11年11月18日
建設地	千葉県印旛郡白井町
構　造	鉄筋コンクリート造
階　数	地下１階地上５階

※今年度の基準改正により一般認定型がなくなりましたので、一般認定型での最後の認定物件となります。

■平成11年度認定基準による

名　称	ハイレーゼ六本木三河台
申請者	興和不動産株式会社
区　分	集合住宅
供給形式	個別供給型
認定日	平成11年11月24日
建設地	東京都港区六本木
構　造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階　数	地下２階地上６階

ＢＬデザイン賞の創設

財団法人ベターリビングは、優良住宅部品(ＢＬ部品)を対象に、住宅や住環境に設置され、居住空間の豊かさや快適さの創造に、大きな効果を持つ優れたデザインの住宅部品を表彰する「ＢＬデザイン賞」を創設することとしました。

住宅部品のデザインは、単に造形の問題だけではなく、機能性、安全性、耐久性といった基本的な性能、品質に加え、居住環境との調和や社会ニーズへの対応など、様々な視点から総合的なアプローチが求められています。

「ＢＬデザイン賞」は、優良住宅部品認定制度の見直しにおける情報サービスの強化の一環として、年度当初よりその創設を計画していたもので、一定の品質を有するＢＬ部品を対象に、選定の視点を『快適な居住空間の創造性』とし、部品が設置される状況を踏まえた上で、より快適で豊かな居住環境の創造につながる、優れたデザイン思想が具現化された住宅部品を表彰するもので、こうしたデザインの優れた住宅部品を一般に公表することにより、ＢＬ部品全体のデザインの向上を図り、住宅のデザインの発展に寄与することを目的としています。

BLデザイン賞マーク

「ＢＬデザイン賞」の概要

■主　催　　財団法人　ベターリビング
■後援(予定)　　建設省、住宅金融公庫、都市基盤整備公団
社団法人　リビングアメニティ協会
■募集対象　　認定全品目(含自由提案型)の優良住宅部品(ＢＬ部品)として認定されているものを対象とする。
■応募者　　ＢＬ部品認定取得企業
■審　査

次の各審査委員からなる「ＢＬデザイン賞審査委員会」により審査する。

審査は、１次審査（審査委員全員で応募資料をもとに審査）及び最終審査（１次審査を通過したＢＬ部品を対象に、原則として現品により審査）により賞を選定する。

●審査委員長
松本　哲夫　（株式会社剣持デザイン研究所　代表取締役　所長）

●審査委員
三井所清典　（芝浦工業大学　建築学科　教授）
栗山　正也　（ＫＤアトリエ　所長）
在塚　礼子　（埼玉大学　教育学部　家政教育講座　教授）
安孫子義彦　（株式会社ジェス　代表取締役　社長）
大久保恭子　（株式会社リクルート　住宅情報事業部　事業部長）
網野　正観　（都市基盤整備公団　技術監理部　設計課長）
松本　重昭　（建設省　住宅局　住宅生産課　建築生産技術企画官）

■選定の視点

住宅や住環境に設置され、居住空間の豊かさや快適さの創造に、大きな効果を持つ優れたデザインの住宅部品を選定する。

選定の視点を『快適な居住空間の創造性』と捉え、部品が設置される状況を踏まえた上で、様々なデザイン的価値を考慮する。

【快適な居住空間の創造へのアプローチ】
●美しさ、独創性、魅力等
●親切さ、誠実さ、心地よさ等
●使用環境への配慮、調和
●社会ニーズ(バリアフリー、サスティナブルな社会等)への貢献
●伝統、文化、風土等への配慮、創造
●その他、応募部品それぞれが持つ様々なデザイン的価値

■賞

ＢＬデザイン賞審査委員会の審査に基づき選定されたＢＬ部品の認定企業にＢＬデザイン賞及びＢＬデザイン大賞を贈呈する。また、これ以外に特別賞を設け、贈呈することもある。

●ＢＬデザイン賞　数点
住宅や住環境に設置され、居住空間の豊かさや快適さの創造に大きな効果を持つ優れたデザインの住宅部品

●ＢＬデザイン大賞 １点
ＢＬデザイン賞の中で総合的な視点において最も優れたもの（該当が無い場合もあり）

■スケジュール

応募受付	平成１２年１月５日(水)～２月１５日(火)
１次審査	平成１２年２月下旬
最終審査	平成１２年３月下旬
発　表	平成１２年４月下旬
表　彰	平成１２年５月下旬

■広報・普及

選定部品は、次のメディア、ツールにより広報･普及に努める。
・新聞･雑誌媒体ツールによる展開
・ＢＬホームページ、ＢＬＮｅｗｓ等に掲載
・建築関係媒体へのNews　Release発信
・パンフレット等専用広報ツールの配布
・ＢＬ常設展示場(横浜)及び関係展示会（ＧＬショーなど）での展示

■問い合せ先

(財)ベターリビング　情報サービス部
「ＢＬデザイン賞」係
Tel.03-5211-0572
Fax.03-5211-0593
〒102-0084　東京都千代田区二番町４番地５
相互二番町ビル３階

お知らせ

ISO9000sに係る講習会

開催の趣旨

今後ISO9000sを取得したいとしている企業と取得することを予定している企業のニーズに応えることを目的としてISOの動向とシステム構築のポイントに関する講習会を開催します。

■実施内容

日　時	平成12年1月20日　13：30～16：50
場　所	財団法人ベターリビング会議室
プログラム	ISOの動向について 建設省工事と入札資格／建設業ランキング（2000年版経審）との関係／PM（プロダクトマネジメント）導入動向／各業態の取組み状況／住宅の品質の確保の促進等に関する法律／ISO9000sシステム構築のポイント／審査登録について
募集人員	100名
参加費	5,000円／人（当日受付にて）
問い合せ先	財団法人ベターリビング　システム審査登録センター 登録業務グループ（波多、秋元、永井） Tel 03-5211-0609　Fax 03-5211-0594

優良住宅部品（ＢＬ部品）の品目名

見直し前		見直し後(1999年度中,順次施行)		施行日	備　考
玄関ドア		玄関ドア		1999.4.1	
ドア・クローザ		ドア・クローザ		1999.8.20	
玄関ドア用錠前		玄関ドア用錠前		1999.12.10	
パイプシャフト用ドア		パイプシャフト用ドア		1999.12.10	
ＲＣ造住宅用サッシ	アルミサッシB型	サッシ	（ＲＣ造住宅用サッシ） （アルミサッシ）	1999.4.1	将来的には「サッシ」に統合 ・材質により区分しない ・断熱型は選択基準へ移行 ・当面はＲＣ造用と木造用に区分
	アルミサッシC型		（ステンレスサッシ）		
	ステンレスサッシ		（木製サッシ）		
	断熱型サッシ				
	出窓				
木製サッシ			（木造住宅用サッシ） （木製サッシ）		
木造住宅用サッシ	断熱型サッシ				
	出窓				
			（断熱型サッシ）	1999.4.1	
			（出窓）	1999.8.20	
天窓			（天窓）	1999.10.1	
高断熱複層ガラス		高断熱複層ガラス			
住宅用シャッター	車庫用シャッター	車庫用シャッター			
手すりユニット	墜落防止手すり	墜落防止手すり		1999.4.1	
	補助手すり	歩行・動作補助手すり		1999.4.1	
内装システム	トータル組み合せシステム	内装システム			
	部位別ユニット（内装床ユニット）	内装床ユニット		1999.12.10	
	（表装壁ユニット）	内装壁ユニット		1999.12.10	
	（間仕切ユニット）				
	（天井ユニット）	天井ユニット		1999.12.10	
	（枠回りユニット）	内装枠回りユニット		1999.12.10	
	内装ドア	内装ドア		1999.8.20	
	浴室ドア	浴室ドア		1999.8.20	
	収納ユニット	内装収納ユニット		1999.10.1	
住戸内階段・ハシゴ段		住戸内階段・ハシゴ段		1999.8.20	
キッチンシステム	キッチンキャビネット	キッチンシステム		1999.8.20	
	調理用ガス加熱機器	調理用加熱機器		1999.10.1	
	調理用電気加熱機器				
食器洗い機		食器洗い機		1999.12.10	
給湯器ユニット	ガス給湯器	ガス給湯器		1999.4.1	
	電気温水器	電気温水器		1999.8.20	
	石油給湯機	石油給湯機		1999.8.20	
密閉式ふろがま		密閉式ふろがま			
太陽熱利用給湯システム		太陽熱利用給湯システム			
融雪システム		融雪システム			
暖・冷房システム		暖・冷房システム		1999.12.10	
換気ユニット		換気ユニット		1999.8.20	
浴槽		浴槽		1999.8.20	・将来的には気泡発生装置付浴槽は選択基準へ移行
気泡発生装置付浴槽		（気泡発生装置付浴槽）			
浴室ユニット		浴室ユニット		1999.8.20	
洗面化粧ユニット		洗面化粧ユニット		1999.4.1	
洗濯機用防水パン		洗濯機用防水パン		1999.12.10	
衛生器具	（便器）	便器		1999.4.1	
	（温水洗浄便座）	温水洗浄便座		1999.4.1	
	（洗面器・手洗器）	洗面器・手洗器		1999.4.1	
	（湯水混合水栓）	湯水混合水栓		1999.4.1	
テレビ共同受信機器		テレビ共同受信機器			
住宅情報システム		住宅情報システム			
ガス警報機器		ガス警報機器		1999.12.10	
住宅用自動消火装置		自動消火装置			
住宅用スプリンクラー設備		スプリンクラー設備			
給水ポンプシステム		給水ポンプシステム			
給水タンク		給水タンク			
配管システム		配管システム		1999.12.10	
エレベータ	（ロープ式）	エレベータ			
	油圧式				
ホームエレベータ		ホームエレベータ		1999.8.20	
住宅用駐車装置	エレベータ式・垂直循環式	タワー型駐車装置			
	昇降式・昇降横行式	複段型駐車装置			
ガレージ		ガレージ		1999.8.20	
自転車置場		自転車置場		1999.8.20	
物置ユニット		物置ユニット		1999.10.1	
郵便受箱・新聞受	（郵便受箱）	郵便受箱		1999.8.20	
	（新聞受）	玄関プレート・新聞受		1999.8.20	
宅配ボックス		宅配ボックス		1999.12.10	
43 品目・59 分類		52 品目			

※　見直し前欄の（　）書きは区分。今回、区分を廃止し、必要に応じて品目化。
※　見直し後欄の濃い網掛けは見直しに伴い品目整理を行ったもの、薄い網掛けは品目名の変更。

ＢＬ部品マーキングシステム通常使用権許諾一覧

［全体受理社数/件数：85社/138件　平成11年11月29日現在］

品目（分類）	企業名	マーキングの種類
玄関ドア	文化シヤッター株式会社	長寿社会対応
郵便受箱	田島メタルワーク株式会社	標準化対応

問い合せ先：情報サービス部　03-5211-0572

BL部品の仕様等の変更

変更事項凡例［A：機種バリエーションの追加／B：機種の廃止／C：名称・型式等の変更／D：仕様の変更・その他］

品目（分類）名	企業名	名称・型式	認定番号	承認日	A	B	C	D
サッシ（RC造住宅用サッシ・アルミサッシ）	立山アルミニウム工業(株)	ＴＫ－７０ＢＬ防音サッシ　はめ殺し窓	BAC 0696	1999.11.15	○			
	不二サッシ(株)	ＦＲＢ－Ｉ（引違窓・引違戸）	BAB 1296	1999.11.16	○			
	トステムビル改装(株)	L-70BN･Ⅱ(200)、BL-70BN･Ⅱ(280)	BAB 0996	1999.11.18	○			
墜落防止手すり	(株)サンケン	BTK-0-80M,BTK-0-80I 他	TST 0944	1999.11.15	○			
	不二サッシ(株)	スカイエコーⅠ・Ⅱ型	TST 2794	1999.11.24	○			
		ニュースカイエコー（廊下用 バルコニー用）	TST 2795	1999.11.24	○			
			TST 1995	1999.11.24	○			
ガス給湯器	北海道ガス(株)	KRN-616FE-L,KRN-616FFB-L 他	KT 1995-A	1999.11.15	○	○		
		KPA-676RF,KPA-656RF 他	KT 1995-B	1999.11.15	○	○		
電気温水器	三菱電機(株)	SRT-5565CFU-BL 他	EH 1396-B	1999.11.15	○			
石油給湯機	(株)コロナ	UKB-G4000 BL(MW)	KB 0294-B	1999.11.15	○			
		UKB-3320TX BL(M) 他	KB 0294-B	1999.11.15	○			
	サンポット(株)	HME-Q403FF,HME-Q403SF 他	KB 0295-B	1999.11.15	○			
暖・冷房システム	(株)コロナ	UHB-G2000HK(FF)BL 他	HS 0596-D,DK	1999.11.15	○			
給水ポンプシステム	(株)川本製作所	65SKF-65×505×6S-M30×2D 他	QS 0395	1999.10.6	○			

11月の動き

11月

［開発部］
- 11月2日　キッチン部品企画委員会
- 4日　浴室部品企画委員会
- 8日　自由提案型優良住宅部品評価基準策定委員会
- 9日　給水システム部品企画委員会
- 26日　増圧直結給水方式の拡大における技術検証委員会
- 〃　健康的居住環境開発委員会　ホルムアルデヒド・その他建材合同WG
- 29日　集合住宅用共用配管ユニットの開発委員会

［試験センター］
1．BL試験
- 玄関ドア
- 墜落防止手すりユニット
- 洗濯機用防水パン
- 床暖房パネル
- 自転車置場
- 生ゴミ処理機

2．主な一般依頼試験
- アルミニウム柱脚部の強度試験
- 集成材ボルト接合部衝撃試験
- 間仕切壁の強度試験
- 超軽量コンクリートのクリープ試験
- 配管凍結試験
- 木造軸組床の床衝撃音および音響透過損失試験
- 現場床衝撃音測定
- 手すりの風騒音測定
- 防耐火構造試験
- 防火材料試験

3．委員会等
- 住宅性能評価遮音性WG（1、19日）
- PC部材品質認定基準見直しWG（17日）
- 住宅性能評価耐久性拡大SWG（19、29日）
- 木造住宅の長寿化・ストック化技術の開発検討WG（22日）
- 遮煙シャッター試験方法検討委員会（22日）
- 住宅用免震装置性能検討委員会（24日）
- 集合住宅用開口面の要求性能に関する検討委員会（25日）
- 防火性能評定委員会（26日）
- アルミニウム建築構造接合分科会（30日）

better living
NEWS vol.081

ホームページ http://www.blhp.org/

定　　価　200円
発行年月日　平成11年12月20日
発 行 人　十亀　彬
発 行 所　財団法人ベターリビング
〒102-0084　東京都千代田区二番町4番地5
相互二番町ビル3階
TEL　03-5211-0574（事務局ダイヤルイン）
FAX　03-5211-0593
筑波建築試験センター　TEL 0298-64-1745